

上野の杜

東京オリンピック 2020  
日本の顔を世界に

# 芸術文化都市構想

## 21世紀の「文化立国日本」を世界に発信する

世界最高水準の文化拠点形成

芸術文化資産の国際的活用

3000万人を迎える国際遊学都市

上野・谷根千・本郷・秋葉原・神保町の基点

日本有数の文化資源の宝庫、「上野の杜」の潜在能力を強化、多種多様な芸術文化機関の連携、豊かな自然環境の醸成と価値ある芸術文化資産をひろく発信する革新的基盤整備により国際遊学都市として大きな経済的波及効果につなげる



## 《上野の杜のポテンシャル》

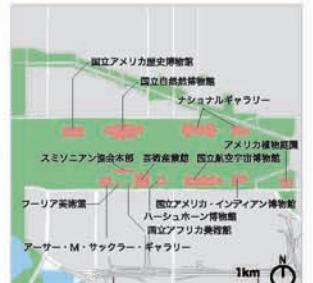
### ・日本屈指の文化施設が集結

東京藝術大学 [ 大学美術館・奏楽堂、(仮称)国際芸術図書館 IRCA 計画 ]、  
東京国立博物館、国立科学博物館、国立西洋美術館、恩賜上野動物園、東京都美術館、  
東京文化会館、国際子ども図書館、上野の森美術館など

### ・新東京国際空港からの国際色豊かな玄関口

### ・人々から親しまれる歴史と自然豊かな景観とその歴史 (不忍池、桜並木など)

### ・災害避難時の重要拠点の強化



海外主要都市との比較

2009年

## 藝大からのアフライ

国、都、区、民間の垣根を越えた各施設の連携への参加と推進

周辺地域とのつながりと文化施設の利活用による芸術資産価値の向上

中核となる施設“芸術における知の拠点 [ 国際芸術図書館 ]” の新設

文化資源活用のスペシャリストの養成 (アーキビスト、アートマネジメント)

公園環境 (アクセス・周遊ルート・景観・地下開発等) の整備への協力

情報ポータルサイトの構築による芸術情報の発信の積極的推進

## 既存法等の最適化

- 総合的な規制の最適化により再開発の際の空間の質の向上をはかる
- 教育研究向上のためのオープンな芸術資産データベース構築
- 芸術文化施設、教育研究施設の弾力的活動の促進
- このエリアを活性化させるための法整備等
  - 研究者・クリエイターへの活動支援
  - 芸術文化に関わる施設や団体が行う活動をサポートする施策
  - 観光に資する既存宿泊施設等を盛り立てる施策
  - ジャパンオリジナルを守り次世代へ引き継ぐための施策 他

## 期待される効果

上野の杜を国際的な魅力をもった芸術文化拠点に再編し、上野の杜から広がる地域に特区としての様々な施策を行うことで、民間活力 ( 商業施設や宿泊施設等の進出 ) による観光開発と市場の形成を促すとともに、首都東京を海外からより多くの人々が訪れて賑わう国際遊学都市として活性化させる効果が期待できる。



文化資源の連携